医療法人 芙蓉会 通信

みなみん

第6号
2016年 5月発行

みなみんは地域の皆様とご一緒にできるかぎり元気で、
たとえ人の助けが必要になっても安心して住み続けることができる
まちづくりの知恵を出し合っていきたいと思います。

ゴイサギが佇む水田に初夏の風が吹き抜けていきます。

［筑紫野市原の平木洋一郎様が吉木の棚田で撮影されました。］

WITH THE KYUSHU

「平成28年熊本大分地震」で被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

発行：医療法人 芙蓉会

■ 筑紫南ヶ丘病院
■ 南ヶ丘訪問看護ステーションききょう
■ ケアプランサービス「南ヶ丘」
■ メディカルケア南ヶ丘

医療法人 芙蓉会 ☎ 092-595-0595
HP http://www.minamigaoka.jp/
〒816-0971 福岡県大野城市大字牛頸 1034-5

筑紫南ヶ丘病院でクリック！ 筑紫南ヶ丘病院 検索

芙蓉会職員のおしゃべりタイム

はしご車も出動して本格的な消防訓練

3月1日、春の消防訓練が行われました。救急隊の方々の機敏な動きに緊張感がはしりました。日ごろの訓練の賜物なんだろうなと随所で感じさせられました。今、地震が多発していますが、私たちも毎日気を引き締めて勤務に臨んでいます。

マイレシピ My Recipe “簡単本格派”♪

ゆで豚肉の薄切り、特製醤油和え

4～5人分

材料
- 豚バラブロック…300g
- キュウリ…1本
- ニンニク…5g

調味
- 醤油…大匙2杯半
- 酢…小1
- 砂糖…小1
- 旨み調味料…少々
- ラー油…小1（別にしておく）
- 粒花椒（ホワジャオ）…少々（別にしておく）

作り方
① 粒花椒はフライパンで煎ってからすり鉢でする。
② キュウリはピーラー等で縦に薄切りにして水につける。
③ ニンニクをすりおろし、調味と合わせる。
④ 豚バラ肉はゆでて薄切りにする。

お皿に円を描くように並べ、中央に水気をしっかりときったキュウリを盛る。肉の上から合わせた調味をかけて、ラー油を回しかける。最後に粉花椒をお好みでかけて完成。

3F Y.Tさん

ゴボウが決め手

炊き込みご飯

材料
- 味付なめ茸…1瓶
- ゴボウ
- 人参
- 米…3合

作り方
洗った米にささがきしたゴボウ、細く切った人参、なめ茸1瓶を入れて軽く混ぜる。普通に炊いて出来上がり！

もう一品欲しい時に

和え物

材料
- キュウリ…3本
- 味付けマグロの缶詰…1缶

作り方
キュウリを薄切りにし塩をまぶして水を切る。そこにマグロの缶詰の汁気を軽く絞ってキュウリと混ぜ合わせる。最後にマヨネーズで和えて出来上がり！

4F Y.Iさん

離床プロジェクト

「寝たきりにさせない」熱い思いをピンクのTシャツにこめて

当院の離床プロジェクトが西日本新聞に取り上げられました。記事は4月23日朝刊に掲載されました。

離床プロジェクト責任者、島添祐子介護長に丸一日密着された記者の西山さん。「一日中立ち仕事で体力勝負ですね。そんな中での的確な立ち振舞いに感心させられました。私は足が棒になりました。」とのご感想。一方、島添介護長は「西山さんが『オムツの臭いがないですね』と言って下さったのは、私たちには最高の誉め言葉なんです。交換したオムツはすぐ個々にビニールの小袋に入れて臭いが拡がらないようにしています。消臭スプレーなども使い患者さんや訪れる方々が快適に過ごせるようにしています。細やかな工夫に気がついて下さったのが嬉しかったです。」とのこと。西山さん、いい記事を、ありがとうございます!

げんき日和
入院患者を笑顔にしたい
離床プロジェクト責任者 島添 祐子さん

接遇委員さんのピンバッジができました

襟元にピンバッヂを付けた14名の接遇委員さんが各部署で活躍しています。笑顔と目配り、気配り、心配り忘れません。楽しく明るい職場、心地良い病院を作っていきます!お気付きの点は何でもお聞かせ下さい。

健康教室スケジュール（5月～6月）

どなたでもお気軽にご参加ください！（要予約）

5月26日(木) ◎11:00～12:30	栄養サポート・ランチの会 （栄養に関するお話とお食事会）
6月15日(水) ◎14:30～15:40	どのくらいかかるの？医療費 「高額療養費制度について」
	もしも介護が必要になったら?? 「介護保険の使い方」

《お申し込み・お問い合わせ》
筑紫南ヶ丘病院　連絡先：092-595-0595

芙蓉会
ニュース
NEWS

介護付有料老人ホームメディカルケア南ヶ丘では

アクティブサポート課「和っはっは」を新設しました。

アクティブメンバー

鬼塚

遠藤

山邉

メディカルケア南ヶ丘では、アクティブメンバーが様々なイベントを催しています。入居者様に笑顔で楽しく生活を送って欲しい、それが私たちの願いです。

外出行事

サンマルクカフェへ

ランチタイムにサンマルクカフェへ行ってきました。ランチのコースでパン食べ放題があり、皆様「おなかいっぱいだけど、別腹かな(笑)」と言いながら好きなだけ召し上がっておられました!

外出行事

シダックスでカラオケ

ひとたびマイクを握ると、ご自分の十八番を気持ち良く歌われる姿はまるで歌手♪時間中曲は予約でいっぱいになる程、それぞれ夢中になりました!ビール(ノンアルコール)も楽しみの1つということで、歌も食事も100点でした。

施設内行事

カフェ「和っはっは」

定期的にカフェ「和っはっは」を開催しています。あたたかく愛情込めたコーヒーをご用意しており、コーヒーの良いかおりと入居者様や職員の笑い声であふれています。カフェでは個人の作品を展示させて頂いており、素敵な作品をながめられながらカフェのゆっくりとした時間を楽しまれています。

施設内行事

母の日コンサートを開催

ボランティアによるピアノとチェロと歌のコンサート。美しい音色に皆様うっとり聞きいっていました。素敵な演奏に会場は大盛り上がりでした。

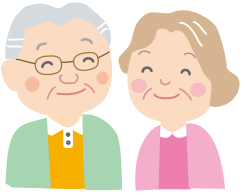
**アクティブサポート課では
みなさまの笑顔であふれる
イベント企画作りを日々研究中!
これからも挑戦し続けます!!**

5月の「和っはっは」主な行事予定

7日(土)	コンサート
11日(水)～	外食行事(中華)
12日(木)	石村萬盛堂販売
14日(土)	和っはっはカフェ
16日(月)	移動コンビニ訪問販売
25日(水)	ゆり工房販売(パン・クッキー・ドーナツなど)
31日(火)	当月誕生日会

福祉の受け手から社会の担い手へ

大野城市シルバー人材センターは前向きなシルバーさんの集う場でした。



シルバー人材センターの主なお仕事

会員募集

マスコットキャラクター「センチャン」

大野城市シルバー人材センターで事務局の方にお話を伺いました。川沿いの事務局にずらりと掲げられた表彰状は歴史を感じさせます。県下でも2番目に古いシルバー人材センターだそうです。

シルバー人材センターは働く意欲のある60歳以上の方を会員として、自治体や企業、家庭などから臨時的、短期的な仕事を受注し会員さんに提供しています。言わば地域社会の「手伝ってほしい」という声と、会員さんの「誰かの役に立ちたい」気持ちをつなげる架け橋。万が一の事故やトラブルに備えた保険も完備され、また危険を伴う作業は原則として受注しない、など配慮がされています。また高齢者が互いに協力しあい、助け合いながら就業するなど、チームで仕事を請け負うことで各人の可能性を広げている点にも感心させられました。

正直、お話をお聞きする前は、「シルバー人材センター＝草取り、剪定」という程度のイメージでした。ところが実際の仕事内容は多様で、産前産後の家事支援、子どもの送り迎えなど子育て世代を支える仕事もされています。また、管理業務や事務作業、着付けや包丁研ぎなど、会員さんのキャリアや特技をいかせる仕事もあります。

昭和50年の東京都での「高齢者事業団」の設立に端を発し、発足40年になるシルバー人材センターですが、「自主、自立、共働、共助」という理念は全く古びていません。むしろワークシェアリングという言葉や、安倍首相の提唱する「一億総活躍社会」をも先取りしていた感があります。

平均年齢は72歳で、80歳を超えた方もおられるそうです。会員拡大にも力を入れており、毎月第2・第4水曜日午後1時半から入会説明会を行っています。興味のある方はぜひ覗いてみてください。

シニア世代になってなお「もう一回成長していこう」と思える方々のなんと素敵なことか。ますます期待が広がる大野城市シルバー人材センターでした。

公益社団法人
大野城市シルバー人材センター
住所：大野城市筒井5-15-5 大野城市高齢者生きがい創造センター内　TEL：092-582-0221

リレー連載

地明人（ちめいじん）④ 地いきを明るくする人

大野城市牛頸の岡本勇さん と 平野台の志牟田敏郎さん

▲ 岡本勇さん

▲ 志牟田敏郎さん

大野城市シルバー人材センターで、就業機会創出員として、また会員拡大のため市内全域を駆け回っておられます。約400名の会員さんが其々の持ち味を発揮できるように、企業や公民館、幼稚園、保育園などや個人宅を訪問して、シルバー人材センターの事業の内容や意義を説いて回っておられます。大変そうなお仕事ですが、ダンディーな名コンビの手にかかると各戸で会話の花が咲きます。訪問先のご夫婦も華やいだご様子。

それもそのはず、ソフトな雰囲気の岡本さんは、大手家電メーカーで営業職をされていた方。人に会うのは大好きとおっしゃいます。かたや理知的な志牟田さんは雇用促進やリクルートの経験が豊富。すばやく相手のニーズを見抜いたきめ細やかな対応はお見事です。この日は50軒近く訪問され、4件の受注があったそうです。花の70代。こんな風に愉快に年を重ねたいものです。

次回は 天拝山に登るのが日課の健脚、小田さん にご登場いただきます。

▲ 玄関の手作り家具に目を止め「ご主人、ご器用ですね。会員になられませんか?」とすかさず勧誘。

▲「遠方の業者さんに頼まれていらっしゃるのは勿体無い。ぜひ大野城市のシルバー人材センターを利用して下さいませんか。」